

加計学園
問題

首相の進退に関わる重大問題

日本共産党 志位和夫委員長が記者会見で指摘

安倍政権のもとで異常な急進展

森友問題に続いて浮上した加計学園問題。07年から一步も進まなかった獣医学部開設の計画が、安倍政権による2015年の「国家戦略特区」指定(愛媛県今治市)のとたん国が認可。今治市が37億円の市有地を提供し、事業費192億円の半額96億円を県と市が負担するという、異常な展開になった問題です。

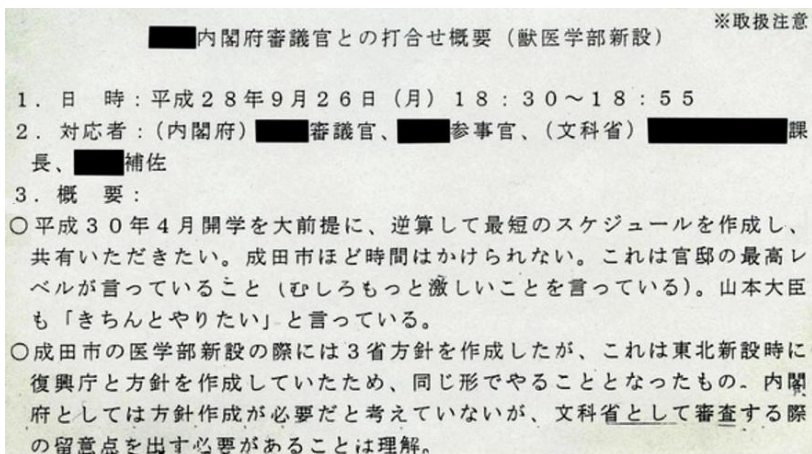
加計学園の理事長は、安倍首相の長年の友人で「腹心の友」と呼ぶ人物。首相の意向が強く働いたのではないかと、という疑惑が取りざたされています。

「総理のご意向だと聞いている」



安倍首相の関与を裏付ける、「獣医学部新設に係る内閣府からの伝達事項」という文部科学省の取扱注意文書が明らかになりました。

そこには内閣府が文科省に、「平成30年開学」逆算して最短のスケジュールを作成…これは官邸の最高レベルが言っていること、「総理のご意向だと聞いている」、「『できない』という選択肢はない」と言ったと記載されていました。



「官邸の最高レベルが言っている」という取扱注意文書

資料の開示と国会での集中審議を

日本共産党の志位和夫委員長は、「文書は極めて信ぴょう性が高い」、「事実だとすれば、総理の進退に直接かわる」と厳しく指摘しました。

首相は国会で「もし働きかけて決めているのなら、責任をとります」と述べ、疑惑を全面否定しています。

志位氏は、①安倍首相が国会で国民に説明し真相を語る、②政府は全ての関連資料を速やかに提出する、③首相出席のもと衆参予算委員会で集中審議を開く、という3点を要求しました。



日本共産党

鳥取民報

2017年5月号外 鳥取民報社
鳥取市古海1114 ☎0857(22)8369
日本共産党西部地区委員会の政策を紹介します。



衆議院議員(比例代表)
大平よしのぶ



党准中央委員(比例代表)
かきうち京美



党県常任委員(鳥取2区)
福住ひでゆき